



ご紹介いたします

ぼくの夢

とよなり小学校 6年2組
鈴木 一朗

ぼくの夢は、一流のプロ野球選手になることです。

そのためには、中学高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。

活躍できるためには練習が必要です。

ぼくは、3歳のときから練習をはじめています。

3年生のときから今では、365日中360日は激しい練習をしています。

だから1週間で友達と遊べる時間は、5～6時間です。

そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球選手になれると思います。

そして中学・高校と活躍して、高校を卒業してからプロに入団するつもりです。

そしてその球団は中日ドラゴンズか西部ライオンズです。

ドラフト入団で契約金は1億円以上が目標です。

ぼくが自信があるのは投手か打撃です。

去年の夏、ぼくたちは全国大会に行きました。

そして、ほとんどの投手を見てきましたが、自分がナンバーワン投手と確信でき、

打撃では県大会4試合のうちホームラン3本を打ちました。

そして、全体を通した打率は5割6分3厘でした。

このように自分でも納得のいく成績でした。

そしてぼくたちは、1年間負け知らずで野球ができました。

だからこの調子でこれからも頑張ります。

そしてぼくが一流の選手になったら、お世話になった人に招待状を配って応援してもらおうのも『夢』のひとつです。

とにかく一番大きな夢は、プロ野球選手になることです。



(イチローが、小学生の時に既にこれだけの明確な目標と、実践に基づいた自信を持っていたことに驚かされました。)

今までの家づくりとこれから求められる家づくり



『家を求める』と言う事
(地域の中で...)

この章は『家を求める』という事で始めました。ここでは僅かな事例でしかお話ができませんでしたが、人が生活する事はそれ自体、多様性があり多面的です。そして、私たちは、何十年生きても『完成されない動物だ』と思います。言い替えると、いつまでも、『未完成』な部分があり、それを埋め合わせる為に、自分の努力と誰かの助け(協力)を求めると思っています。『家』の中にはプライベートな生活空間であり、誰かの助け(協力)を求めると思っています。あるがゆえ、「幼児の虐待」「祖父母による孫殺害」といった社会事件が後を絶ちません。家の中で「家庭」が増々小さくなり崩壊していきようです。本来純粋無垢な子供たちは、地域の中で大人たちに見守られながら成長すべきではないでしょうか。今、地域で共に暮らす力(地域力)が弱くなっています。

『家』が存在することは、地域の共同体へ向けた情報の発信の場でもあり、又暮らす人達を含め社会的な存在であると思えます。

私たち一人ひとり、出来る事は僅かなことでしよう。

『家を求める』事を考えたとき、次世代のためにも、地域で共に暮らす力(=地域力)を強固にしていく時期に来ているのではないのでしょうか。

それが、時代から与えられた私達の責任だと思えます。

おわりに

最近思います。

「家は器では無いですよ。人が暮らすから家なんですよ。」

人は『同じ所 同じ時間(帯)に 同じ事をする』と理解し合える速さが増すと

思います。しかし現在はこの「同じ〇〇」の接点自体が少なく、また求めなくなっ

てしまった気がします。こう思うのはわたしだけでしょうか？

今私の人生は「現在進行形」です。まだまだ人として「未完成」で「不満足」であり

ます。こんな穴明きの部分を次世代の子供達も含め、地域の存在する『資源』た

る方々と補完し合いながら暮らせる事を望みつつ『家づくり』に励んでいきたく

いと考えています。

皆と共に幸せに暮らせる様に...

乱筆・乱文の中、お付き合い有難うございました。内容については、思う様に伝

わらない事を了解いただき、ご意見・ご感想を頂ければ幸いです。

最後まで有難うございました。

合掌

この連載は今回で終了します。長きに渡りお付き合いいただきまして有難うございました。小冊子にまとめたものを、読んで下さる方に差し上げます。上記連絡先まで、どうぞお知らせ下さい。

地震 にそなえるには

何と言っても、家が倒れないことですね。
 四川大地震でも、建物の倒壊でたくさんの方が亡くなりました。
 日本の木造住宅の耐震性を考える時、昭和56年がポイントです。
 宮城県沖地震(昭和53年)の被害を踏まえ、自然から様々な事を学んだ結果、
 昭和56年に耐震設計基準が抜本的に改正されました。
 これ以前に建てられた家は、地震に弱い可能性があるのです。
 そこで、築27年以上の住宅は耐震診断をおすすめします。

ご存じですか？ 狭山市では、(昭和56年5月31日以前に着工された住宅対象に)

☆無料簡易耐震診断を行っています。
 パソコンソフトによる簡易診断を建築審査課で受け付けています。
 家の図面、または間取りを書いたものをもとに、診断します。

☆さらに、詳しい耐震診断や改修をする場合
 耐震診断や耐震改修工事の一部を市が補助する制度があります。

1 既存住宅耐震診断補助制度

昭和56年5月31日以前に着工された、戸建在来軸組構法による住宅の、耐震診断を専門家にしてもらう場合、費用の半分以上を市が補助します。(25,000円を限度として)

2 耐震改修補助制度

財)日本建築防災協会の「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める上部構造評点が1.0未満で、耐震改修後1.0以上又は、地盤並びに基礎が安全となる工事。
 工事は、市内の業者が行う場合。
 費用の15.2%を補助します。(20万円を限度として)

☆一定の住宅改修を行った場合、固定資産税が、最長3年間、2分の1に減額されます。

*これらの制度の詳しいことは市の建築審査課(2953-1111)にお問い合わせください。
 もちろん、弊社でも補助金の対象となる、診断・改修を行っております。
 図面や実際の家を調査して、費用は5万円ほどです。

*狭山市以外でも、補助制度がある自治体は多いようです。お住まいの市町村にお問い合わせください。

はんげしょう 半夏生のころ

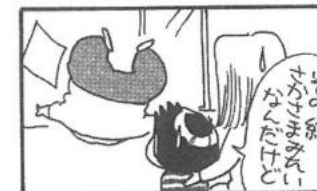


暦の上の半夏生のころに、葉を半分白く染めます。
 花は、白い粒が集まったようで目立ちませんが、
 葉は梅雨空の下でくっきりと浮き立つようです。
 今年の半夏生は7月1日です。

(半夏生とは、夏至から11日目の日で、農家にとっては、農作業をこの日までに終えるという節目の日になっていたようです。)

＜うつ伏せ寝＞で鍛えられる腹筋

- ・ 普段の生活で腹筋をつける簡単な方法が、「うつ伏せ寝」です。腰痛があって、一般的なトレーニングができないときでも、これは、できます。
- ・ 方法は、「床か布団の上で1日1回、15~30分程度のうつ伏せ寝をする」というもの。うつぶせに寝ることで、普段の生活で縮みがちで、伸ばす機会のない体の前面が伸び、これが腹筋を伸ばすストレッチになります。
- ・ また、お腹の中のガスがよく出て、排便効果につながり、肩の関節や股関節の緊張をとるのにも効果的です。
- ・ うつ伏せ寝をすると、腹式呼吸がしやすくなって、自然に深い呼吸になることから、脳の活性効果やストレス解消効果もあるとされています。
- ・ うつ伏せに寝るだけで、腹筋に刺激を与えられるのですから、これほど楽なことはありません。どうしても寝付けない時にも、意外に眠りやすいのでおすすめです。



雨のお話

梅雨に入ったある日、雨が降って来ました。目に見えないほどの細かい雨ですが、傘をささないといぬれてしまう、糸のような梅雨らしい雨でした。

五月雨を集めて早し最上川 芭蕉

この五月雨(さみだれ)とは陰暦の五月なので、実際は今の時期に降る長雨のことなのだそうです。

五月晴れも本来は、梅雨の晴れ間のことを表わした言葉だそうです。

狐の嫁入りは、晴れているのに、パラパラと気まぐれに降る雨のこと。これも夏に多いですね。

♪ 編集後記 ♪

ある若い俳優さんが、「好きな女性のタイプは？」と聞かれて、「古風な人です。」と答えていました。意外な答えだったので、耳に残りました。古風とはどういうことか、詳しくは言いませんでしたが、心遣いができ、流行に踊らされない凛とした人というイメージがわきました。品格という言葉にも通じるようですね。

